



東京部会(第 87 回)

日 時:	2016 年 11 月 17 日 (木) 19:00-21:30
場 所:	日本大学経済学部本館 2 階中 2 会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 加藤一誠(慶應義塾大学)、鈴木深(東京証券取引所)、杉田孝之(千葉県立津田沼高)、塙枝里子(都立府中東高)、升野伸子(筑波大学附属中)、星典男(鎌倉市立手広中)、中沖栄(清水書院)、新井明(上智大学)、以上8名

(1) 来年3月25日の年次大会の内容構成を検討した。

テーマは「主権者教育と経済教育」。プログラム案をもとに内容構成を検討した。第一部は主権者教育と経済教育に関しての国立教育政策研究所の大杉昭英先生の講演、金子幹夫先生の実践報告を中心に展開する。第二部は社会保障をテーマに升野伸子先生の授業提案ほかを行うことを基本にする。ほかに、主権者教育に関する講演ができる経済学者、実践報告では大阪部会参加者からの提起者などがほしいという要望があった。

(2) 冬の経済教室の取り組み状況、来年夏の経済教室の日程や内容に関する検討を行った。

- ① 冬の教室準備では沖縄に関する教材を準備中であることが加藤先生から報告された。
- ② 来年の夏の経済教室日程では、8月3, 4日名古屋、8月7, 8日大阪、8月14, 15日東京、8月17, 18日東京という希望がだされ調整をお願いすることになった。内容に関するフリーディスカッションを行い、アクティブラーニングの実際紹介、講演講師の希望、プログラムの見直し、資料として教科書の活用法など、10年目ということで内容充実の方向で取り組むことが確認された。

(3) 宮尾尊弘先生の「これさえあれば質問も発表もらくらく」の紹介と検討を行った。

これはディベート授業のモデルを提示された宮尾先生がアメリカから送付された資料である。ディベートや授業における質問の方法、準備のところがまえ、プレゼンテーションなどの発表に関する方法や注意点をまとめたもので、生徒だけでなく教員としても役に立つ資料であるという評価であった。

(4) 参加者から現在取り組み中の課題等に関する報告を行った。

- ① 塙先生:中学生向けのパーソナルファイナンスをテーマとした公開授業を行った。豚の貯金箱を用意して、貯める・使う・寄付する・投資する・の四つを選ばせる試みをした。特徴は、寄付する・投資するという回答がすくなく、未来を明るくえがけていない子供たちが多く、投資のハードルを下げるような取り組みが必要と感じた。
- ② 星先生:中三公民ではやっと経済に入るくらい状況。これではじっくり考えさせたり、経済の面白さをわからせる授業は難しい。また、金融経済教育に関しては、汎用性がある簡単に組み立てる教材がもっとあるとありがたい。先生方が経済に関してはまだ十分に理解と関心をもっていないので、その部分に対する働きかけも必要と感じている。また、授業公開があり、「ここみてシート」という授業のポイントを示すものを教員が用意して50分全部を見学しなくてもよいような工夫を行っている。
- ③ 鈴木氏:金融庁が金融教育、投資教育に本腰をいれはじめているようで、東証の取り組みなどを説明にゆくことになっている。
- ④ 中沖氏:現在編集集中のレインボーニュースの見本を持参されて、名古屋はとり中学の佐藤先生の実践が掲載されている部分を紹介された。
- ⑤ 加藤先生:空港の民営化で検討会が各地であり、それに忙殺されているという報告があった。
- ⑥ 升野先生:研究協議会があり、他教科の先生の授業方法などが参考になった。歴史では発問が工夫されて



いて、信長、秀吉、家康の政策を「アリ型」「キリギリス型」、「伝統を守る」「こわす」というような分類で生徒に考えさせる授業などは新鮮だった。こんなかたちで歴史のなかのお金の役割などを追いかけてゆくものよいのではないかと思っている。

⑦ 杉田: アンチ・アクティブラーニングで授業を試みている。データを見ること、知的好奇心を高めることなどはグループでなくともできるはず。また教材が教員の弱点をカバーしてくれると考えているので、よい教材を発掘、開発したい。最近の取り組みは、道徳の研究授業で取り組んだ「子どもの貧困」。これをもう少し探求したい。

⑧ 新井: 弘前でおこなわれた日本社会科教育学会での、新井・金子・杉田の発表「主権者教育に経済教育の風を」の報告を行った。

(5) 読売新聞の「新聞のちから」企画の紹介が加藤先生からあった。

これは、読売新聞の記者が、新聞を使った講義と文章の添削を行うもので、企業研修や就活中の学生や大学入学前の高校生の事前指导向けのプログラムだが、高等学校など学校でも活用できるので、検討してほしいということであった。

(6) 今回の部会は、参加者が少なかったが、自由討議を中心に有意義な情報交換ができたのではないかと思う。

(文責: 新井)

次回開催予定: 12月27日(火)、冬の経済教室のあと短時間で活動報告を中心に開催。来年度以降は参加メンバーのスケジュール調整後に決定することになった。